

科目名	福祉臨床実習	
担当者	山喜 高秀 / 飯干紀代子	
科目情報	心理臨床<福祉臨床> / 選択 / 前期 / 実習 / 2単位 / 3年次	
科目概要	授業内容	児童や障害者、および高齢者のウェルビーイングとQOLの向上を図るため、今日、社会福祉の分野において、臨床心理学の知識と技術に対する要請が非常に強くなってきている。本実習では、児童福祉・障害者福祉・高齢者福祉の現場における臨床心理学の役割について体験学習を行う。
	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童福祉、障害者福祉、高齢者福祉の現場について、事前に学習する。 ・ 福祉施設現場への実習における留意点について学ぶ。 ・ 福祉施設の見学実習（見学とレクチャー）。 実習記録のまとめかたを学習する。
授業計画	(1) 実習事前学習 ① 社会福祉と臨床心理学の関連 (2) 実習事前学習 ② 障害者施設について (3) 実習事前学習 ③ 児童福祉施設について (4) 実習事前学習 ④ 施設見学における心構え及び諸注意 (5) 障害者福祉施設の見学実習（施設見学と心理士のレクチャー） (6) 児童福祉施設の見学実習（施設見学と心理士のレクチャー） (7) 実習記録の作成についての学習 ① (8) 実習記録の作成についての学習 ② (9) 実習記録の作成 (10) // (11) // (12) // (13) 障害者福祉施設見学実習のまとめ (14) 児童福祉施設見学実習のまとめ (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。
	事後学習	・学習した内容を今後の進路選択に役立てること。
使用教材 参考文献	【教】特定の教科書は使用せず、随時参考資料を配布する。	
成績評価方法 と基準	<基準>「福祉臨床実習」に関して、講義の到達目標の4項目の理解修得が達成されたものを合格とする。 <方法>講義出席、施設見学、実習記録を全て行うことが評価の前提条件。 受講態度（20%）、施設見学の態度（50%）、実習記録の内容（30%）	
備考		